

研究へのご協力をお願い

研究課題名「学生が他学生に講義することの教育効果について」

東京歯科大学 物理学研究室

研究責任者：教授・池上健司

この度、東京歯科大学物理学研究室において下記の内容にて研究を行うこととなりました。本書面をご一読いただき、本研究の趣旨、内容をご理解いただけましたら、是非ご協力いただきますようお願い申し上げます。

ご自分のデータを使用されたくない場合は、2023年10月中に、下記担当者までお申し出ください。その際は、不同意書をお渡しいたしますので、必要事項をご記入の上ご提出をお願い致します。それによって不利益な扱いを受けることはございません。

1. 研究目的と意義

学生自身が学習する内容を説明することによる学習効果については先行研究にて効果があるという結果が出ています。説明からさらに一歩進んで学生自身が講義する体験自体が、特にその科目だけでなく他の多くの科目の成績にも効果があるかどうかはあまり分かっておらず、調査する意義があると考えています。

2. 研究方法

2022年度に第2学年に行った学生自身が講義することを体験した取り組みや成績のデータを解析したいと考えています。学生が講義することへの取り組みのデータとその後の成績の向上に相関があるかを調べることで上記の効果が分かると思われま

<この研究にご参加いただく方>

2022年度に行った学生自身が講義する取り組みを体験した方。141名。

<この研究の実施内容・方法>

2022年度第2学年前期にホームルームで実施したポストテストのデータ、GoogleFormsによるアンケートのデータ、2021年度1年後期と2022年度2年前期の定期試験の成績を用いて統計解析します。

<ご協力いただく事項>

2022年度第2学年前期にホームルームで実施したポストテストのデータ、GoogleFormsによるアンケートのデータ、2021年度1年後期と2022年度2年前期の定期試験の成績を用いて統計解析を行

いますので、新たにさせていただくことはありません。

<研究期間>

本研究の研究期間は、2023年9月22日～2024年3月31日です。

3. 研究対象者に生じる負担並びに予測されるリスク及び利益

すでに提出して頂いているデータを統計解析するため、新たな負担やリスク、利益は生じません。

4. 個人情報等の取扱い

本研究で用いるデータは研究責任者が他の情報と照合しない限り特定の個人を識別することができないよう加工したうえで研究に用います。

<試料・情報の保管方法とその期間>

情報は、ネットワークから切断されパスワードを設定したパソコンに電子的保管を行います。パソコンは研究室内の鍵のかかるロッカー内に保管します。保管期間は設定していません。

<試料・情報の廃棄方法とその期間>

廃棄の予定はありません。

5. 研究に関する情報公開の方法

<研究計画書の開示>

研究計画書の閲覧を希望される場合はお問い合わせ先にご連絡ください。

<研究成果の公表>

東歯学会、東京歯科大学教養系紀要で発表予定です。その際、個人が特定されるような情報は公表いたしません。

6. 倫理審査委員会の承認

本研究は、東京歯科大学倫理審査委員会の審査を経て、学長の承認を得ております。

7. 費用等に関すること

費用が発生することはありません。謝金もありません。利益相反もありません。

8. 将来の研究のために今回得られた情報を用いる可能性について

将来、本研究で取得された情報の二次利用による研究する場合は、改めて倫理審査(新規)の申請を行います。データは取り扱いに注意の上、電子的に保管されます。

本研究に関するご質問やご意見がある場合は、下記へご連絡ください。

お問い合わせ先

東京歯科大学 物理学研究室

研究責任者（試料・情報管理責任者） 池上健司

連絡先 03-6380-9308